

2025年度 CSC FD 活動報告書

2025 年度の CSC の FD 活動では、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを中心に実施した。

1. 基礎的スキルの育成 (A) ・基礎科目の強化 (B) ・105分化授業への対応 (C)

(1) 活動内容と成果

A.基礎的スキルの育成：「Life Skill Program」***の実施

目的は、学生アスリート（強化育成選手）に求められる専門的な知識や技能の習得・向上にある。2023年度より継続して月1回、年間8回以上実施しており、本年も内容に変化を加えながら実施した。対象は主として1、3年生（及び指導者）である。すなわち、隔年でスキルの確認及び向上を図ることを狙いとする。学生アスリートに求められる専門的な知識や技能の習得・向上につき一定の成果を得た（新任の指導教員には特に有益である）。

***具体的内容：競技と学習の両立、自分の心身と向き合う（心理的ケア）、スポーツ栄養実践、負傷予防と身体の仕組み、アスリートのための医学（男女共同実施）、アスリート経験を生かした就職活動等。

B.基幹科目の強化

(ア)「競技スポーツ実践」（強化育成クラブ）の活動報告を実施（2～3クラブ／月）

(イ) 目的：CSC のビジョンの実現（そのための、指導力向上及び学生の学びの質の向上）

(ウ) 実施内容：次の内容を報告し合い、情報共有し、意見交換を実施。相互研鑽の場とすることができた。

- ① 大会の結果・予定・重視する大会
- ② 練習内容（週間・年間計画・場所）
- ③ 特徴的な取組み（他のクラブにも参考となるような取組み）
- ④ 他の指導者に意見や情報を得たいこと

C. 105 分化授業への対応

「スポーツ実践」の授業****について、次の工夫を行い、教員間でも共有を図り、対応を図ることができた。

****対象：一般学生（例 軽スポーツ、トレーニング、バドミントン、バスケットボール 等）

(ア) より十分な安全対策：体調管理・観察・指導、適度な休憩（実質的な休憩）、熱中症対策（水分補給への配慮、水筒持参の推奨）、けが予防 等

(イ) 集中力維持、学習意欲向上のための工夫：ハーフタイムの導入、前半・後半で内容的変化をつける、希望通りの選択でない学生への配慮（人数を多くして希望通り対応した）

(2) 評価

上記 **A** の活動を通じて、学生アスリート（強化育成選手）に求められる専門的な知識や技能の習得・向上につき一定の成果を得ることができた。毎回アンケートを実施している。同結果を受けて、今後も学生のニーズに沿った内容とし、より効果的な内容としていく。また、上記 **B** の活動により、指導者間での情報共有、意見交換、また相互連携の場をつくることができた。今後はこの情報共有、相互連携を前提として、さらに課題を明瞭化・精緻化し、その課題解決に向けて、より実質的な相互協働の取組みを効果的に実施していくことが目標となる。上記 **C** については、一般学生を対象とするものであり、これまで同様、十分な安全対策を行って実施していく。

2. 学生の構成が変化中での最適な授業づくり

(1) 活動内容と成果

上記 **B**。「競技スポーツ実践」（各強化育成クラブ）の活動報告のなかで、「学生の構成が変化の中で構築している最適な授業づくり」についても併せて報告をしていただいた。学生の変化に対応する学生指導、最適な授業について、相互研鑽の場とすることができた。

(2) 評価

上記 **B** の活動により、指導者間での情報共有、意見交換、また相互連携の場をつくることができた。今後はこの情報共有、相互連携を前提として、さらに課題を明瞭化・精緻化し、その課題解決に向けて、より実質的な相互協働の取組みを効果的に実施していくことが目標となる（既に一部のクラブ間で、相互交流、また合同練習等を通じて相互協働の取組みが実施されている。こうした取組みを通じて、「学生の

構成が変化するなかでの最適な授業づくり」、また教員・指導者の指導力の向上・発展が図られている)。

以上